

## 主題：ヨベル

メッセージ 12

現在の邪悪な時代から救い出されてキリストがわたしたちの存在の中に造り込まれ、  
暗やみの権威から救い出され、神の愛する御子の王国に移されて、

ヨベルの究極的完成のために、

すべてを含む、拡張した、第一位のキリストを経験し、享受し、構成される

聖書：ガラテヤ 1:4, 15-16. 2:20. 4:19. コロサイ 1:12-19. 2:2, 9, 16-17, 19. 3:4, 10-11

I. わたしたちは、現在の邪悪な時代から救い出されて、キリストがわたしたちの存在の  
中に造り込まれました——ガラテヤ 1:4, 15-16. 2:20. 4:19 :

A. イエス・キリストは「わたしたちの罪のために、ご自身を与えられました。それは、  
彼がわたしたちの神また父のみこころにしたがって、わたしたちを現在の邪悪な時  
代から救い出すためです」——1:4 :

1. 時代とは、サタン的な組織であるこの世の現在の、あるいは現代の外観を指して  
います。それはサタンに用いられて、神の民を強奪し占有し、神と彼の定められ  
た御旨から遠ざけます——エペソ 2:2. I ヨハネ 2:15-16。
2. ガラテヤ人への手紙の文脈によれば、第 1 章 4 節の現在の邪悪な時代とは、宗教  
の世、この世の宗教的な行程、ユダヤ宗教を指しています——6:14-15。
3. キリストがわたしたちの罪のためにご自身を与えた目的は、わたしたちをユダヤ  
宗教、現在の邪悪な時代から救い出すことでした。これは神のみこころにしたが  
って、神の民を律法の後見から解放し、羊の囲いから連れ出すことでした  
——3:23. ヨハネ 10:1, 3, 16. I テモテ 1:3-4。
4. 神のみこころは、キリストのからだとしての召会を持つことです——ローマ 12:1-5。

B. キリストがわたしたちの存在の中に造り込まれるとは、御子キリストがわたしたち  
の中に啓示され、わたしたちの中に生き、わたしたちの中に形づくられることす  
——ガラテヤ 1:15-16. 2:20. 4:19 :

1. 神の心の願いは、御子をわたしたちの中に啓示して、わたしたちが彼を知り、彼  
を命として受け入れ、神の子たちとなることです——1:12, 15-16. 4:5-6 :
  - a. 神の御子の生けるパーソンをわたしたちの中に明らかにし、啓示することほど、  
神を喜ばせるものではありません——1:15-16。
  - b. 聖書の焦点は、神の御子の生けるパーソンです。彼は三一の神の具体化であり、  
すべてを含む霊としてわたしたちの霊の中に啓示されています——コロサイ  
2:9. I コリント 15:45 後半. 6:17. II コリント 3:17. ピリピ 1:19。
2. ガラテヤ第 2 章 20 節に、神の新約エコノミーの最も基本的な真理があります  
——もはやわたしではなく、キリストがわたしたちの中に生きておられる :
  - a. 神のエコノミーは、「わたし」が十字架につけられ、キリストが彼の復活の中  
でわたしの中に生きることです——ヨハネ 14:19。
  - b. 神のエコノミーの中で神の意図は、手順を経て究極的に完成された三一の神が  
わたしたちの存在の中に造り込まれ、わたしたちを新しいパーソン、新しい「わ  
たし」とすることです——ガラテヤ 2:20。

c. わたしたちとキリストは一つの命、一つの生活を持ちます——ヨハネ 6:57。

3. キリストがわたしたちの中に形づくられるとは、キリストがわたしたちの中で完全に成長して、わたしたちが神聖な子たる身分の中で円熟することです——ガラテヤ 4:19。

II. わたしたちは暗やみの権威から救い出され、神の愛する御子の王国に移されて、ヨベルの究極的完成のために、すべてを含む、拡張した、第一位のキリストを経験し、享受し、構成されます——コロサイ 1:12-19. 2:2, 9-10, 16-17, 19. 3:4, 10-11 :

A. 御父はわたしたちを暗やみの権威、サタンの権威から救い出して、愛する御子の王国に移しました—— 1:13-14 :

1. わたしたちはキリストの死によって、また復活におけるキリストの命によって、悪魔、サタンから救い出されました—— 13 節. 2:14-15. ヨハネ 5:24。

2. 御子の王国とはキリストの権威です——コロサイ 1:13. 啓 12:10 :

a. 神の御子は神聖な命の具体化また表現です——ヨハネ 1:4. I ヨハネ 5:11-12。

b. 御父の愛する御子の王国に移されるとは、命である御子の中に移されることです——ヨハネ 11:25. コロサイ 3:4。

c. 御父の愛する御子は、御父の愛の対象であり、復活の権威を伴う神聖な愛の中で、わたしたちの命の具体化となります——マタイ 3:17. 17:5。

d. わたしたちが移された王国は、神の愛する御子の王国です。この命の領域は恐れの中ではなく、愛の中にあります——コロサイ 1:13。

e. わたしたちが今日いる王国は、命、光、愛に満ちた領域です—— I ペテロ 2:9。

3. 御父は御子を喜ぶので、御父の愛する御子の王国は、喜びの喜ばしい事、事柄です——マタイ 3:17. 17:5。

4. 召会生活は今日、御父の愛する御子の王国であり、それは父なる神にとって御子のように喜ばしいものです——コロサイ 1:13. 4:15-16。

B. コロサイ人への手紙の中に明らかにされたキリストは、すべてを含む、拡張した方、神のエコノミーの中心性また普遍性です—— 1:15-19, 27. 2:16-17 :

1. 神のみこころは、わたしたちの分としてのすべてを含む、拡張したキリストです—— 1:9, 12, 18-19。

2. わたしたちは、すべてを含む、拡張したキリストを注入され、浸透され、飽和されて、彼がわたしたちのすべてとなるまでになる必要があります—— 27 節. 2:16-17. 3:4, 10-11。

C. 神の愛する御子の王国の中で、キリストはすべての事で第一、首位を持っています。キリストの第一位のビジョンを見るなら、わたしたちのクリスチャン生活と召会生活は改革されるでしょう。なぜならわたしたちは、すべての事でキリストが初めてなければならないことを認識するからです—— 1:18. 啓 2:4。

D. 神の愛する御子の王国におけるクリスチャン生活は、信仰と愛の生活、キリストとの結合における生活です——コロサイ 1:4, 8. 2:2, 5, 7. 3:12-4:6。

E. 神の愛する御子の王国の中で、わたしたちは地方召会生活を実行し、キリストのからだの実際と実行を持ち、一人の新しい人の実際と実行を持ちます—— 1:2. 2:19. 3:10-11, 15. 4:15-16。

良き地としてのすべてを含むキリストのための戦い——  
カナンの地を所有するための霊的戦いの必要

- I. ヨシュア第 1 章 3 節は、神がイスラエルに良き地を与えたものの、イスラエルはなおもその地を取る必要があったことを示しています。彼らは起き上がって、その地を所有するという神の委託を成就することによって、神と協力する必要がありました：
- A. ヨシュアはイスラエルの子たちを導いて、約束された地に入り、それを取り、所有し、享受しました——6 節。
  - B. イスラエルは団体のヨシュア（神によって選ばれ、召され、贖われ、救われ、訓練され、用意され、資格づけられ）となり、神と一になって前進し、カナンの地を取りました。
  - C. すべてを含むキリストを得るために、わたしたちは今日のヨシュアとなって、戦い、地を取り、キリストをわたしたちの嗣業として享受する必要があります。
- II. わたしたちはからだなしに、良き地としてのキリストを享受することはできません。わたしたちはからだと一になって地のために戦い、地を所有し、地の分を分け合わなければなりません——民 32:1-32. ヨシュア 22:1-9。
- III. わたしたちは、カナンの地にいた異教の部族の霊的な意義を理解する必要があります：
- A. その地を占有したさまざまな異教の部族は、わたしたちの天然の命のさまざまな面を表徴します——出 23:23, フットノート 1：
    - 1. 異教の部族の神々（偶像）（24 節）と、それらの背後の悪魔は（参照、I コリント 10:20）、邪悪な霊的勢力を代表します（エペソ 6:12）。
    - 2. わたしたちの天然の命の背後に邪悪な勢力があって（参照、マタイ 16:23）、わたしたちの天然の面を利用し、操作し、方向づけて、すべてを含むキリストを所有し、彼の豊富を享受することを妨害します。
    - 3. 天然の命は、キリストを所有し、彼を享受することを妨害するので、わたしたちはそれを憎み（ルカ 14:26）、キリストの中で成長するとき、進んでそれを追い出さなければなりません。
    - 4. 神は、異教の部族で表徴されるわたしたちの天然の命を、一度限りで断ち切るものではありません（出 23:29）。なぜなら、これはわたしたちの内側を空虚にし、野の動物で表徴される悪魔に占有される危険性があるからです（参照、マタイ 12:43-45）：
      - a. 神がわたしたちの天然の命を断ち切るのは、徐々に、少しずつ、わたしたちが神聖な命の中で成長する程度にしたがってです（出 23:30）。
      - b. キリストはわたしたちの中で増し加われれば増し加わるほど、ますますわたしたちの天然の命に置き換わります。
      - c. キリストがわたしたちの中で増し加われれば増し加わるほど、ますますわたしたちは天然の命を追い出すことで、神と協力します（31 節）。
  - B. カナン人は、邪悪な霊に、空中のサタン的な暗やみの力に結び付いた人類を表徴します——民 14:45, フットノート 1。
  - C. カナン人が予表するのは墮落した天使、サタンに従い（啓 12:4, 7）、サタンの王国の中で力、支配、権威となった反逆の天使です（参照、ダニエル 10:13, 20）——民 21:1,

フットノート 1:

1. 旧約の予表で、カナンには二つの面があります：
    - a. 積極的な面で、カナン、良き地は（申 8:7-10. 7 節、フットノート 1 と 2）、すべてを含むキリストと、彼の計り知れない豊を予表します（コロサイ 1:12. エペソ 3:8）。
    - b. 消極的な面で、カナンはサタンの暗い王国の空中の部分、天の部分を表徴します。
  2. この世の支配者として（ヨハネ 12:31）、また空中の権威の支配者として（エペソ 2:2）、サタンは彼の権威（使徒 26:18）と彼の使い（マタイ 25:41）を持っています。彼らはこの世の暗やみの支配、力、支配者たちとしての部下です（エペソ 6:12）。ですから、彼には彼の王国（マタイ 12:26）、暗やみの権威があります（コロサイ 1:13）。
  3. イスラエルの子たちがカナン人と戦って、良き地を所有し享受することは、すべての肢体を含む全体としての召会が、「天上にいる悪の霊の勢力」（エペソ 6:12）と霊的に戦って、聖徒たちがすべてを含む地としてのキリストを享受することを予表します。
- IV. 召会は団体の戦士であって、サタンの空中の勢力と戦わなければなりません。それは、神の民がさらにキリストを獲得してキリストのからだを建造し、神の王国を設立し拡大し、キリストが戻って来て、地を受け継ぐことができるためです—— 10-20 節. 3:8, 16-21。
- V. 「わたしたちはみな、回復とは何であるのか、回復はどこにあるのか、どのような人が回復を前進させることができるのかを知る必要があります。わたしたちはみな、今日の主の回復の中で戦場にいることを見る必要があります。わたしたちは今日のヨシュアとカレブとなって、サタンの空中の勢力と戦うべきです。それは、わたしたちがさらに多くキリストを獲得してキリストのからだを建造し、神の王国を設立し拡大し、キリストが戻って来て、地を受け継ぐことができるためです。ただ霊的で聖くあるだけでは足りません。わたしたちはヨシュアとカレブから学んで、この時代に神の関心事を代表し、敵を打ち破る必要があります。それは、キリストが人々によって獲得され、こうしてキリストが彼を追い求める者たちによって、拡大されることのできるためです」（ヨシュア記ライフスタディ、メッセージ 10）。